

ケニア Kenya

■なぜ女子ランナーが育たないか■

ソウル五輪の陸上、トラック競技でのケニア勢の活躍はすばらしいものでした。しかし、その活躍はすべて男子で、女子は出場した5人のうち、予選のないマラソンを除いてすべて予選落ち、決勝進出はできませんでした。男子の活躍に対してなぜ女子が育たないのでしょうか。昨年の11月5日付の日経新聞でこの話題をとりあげています。

ケニアの女子ランナーは、12、13歳の少女期にはその才能をたっぷりと発揮します。はだしで草のトラックを春風のごとく駆け抜けて、どんな大選手に育つかと夢を抱かせてくれます。しかしこれも15歳ぐらいまでです。ケニア女性の平均的結婚年齢は18歳前後で、女子ランナーも例外ではありません。結婚したらまず競技生活を続ける人はいません。生活のためにスポーツどころではないということがあるからです。

また、指導者の問題もあります。結婚して子孫を残すことが一般的なアフリカ女性にとって結婚適齢期にスポーツに明け暮れていては、自分だけがとり残されてしまうと不安になるでしょう。そんな不安をとり除く組織も指導者もないのです。どの国でも程度の差こそあれ、女子選手を育てるのは容易ではないようです。

ン連 U.S.S.R.

■ボディビルで女性らしい体形づくり■

女性たちの間でもボディビルへの関心が高まっています。本紙15号で英国での女性のウェイト・トレーニングについてご紹介しましたが、今回はソ連でのボディビルそしてウェイト・トレーニングの話題を、ノーボスチ通信社のAPNニュースから紹介します。

「男女を問わず均整のとれた美しい体形は憧れである。女性たちは、筋骨たくましい体になろうとしているのではなく、ぜい肉を取り、健康な体を作りたいと思っているのだ。女性がボディビルという疑問視、特別視する傾向があるが、努力次第で調和のとれた美しい体形作りに大いに役立つ。ボディビルのウェイト・トレーニングは、体形の欠点をうまく矯正し、体建設する効果がある。アレイやバーベルを使ったトレーニングが女性らしさを損なうというような心配はご無用。反対に女性らしい体つきを削り、それを維持していくことを大いに助けるのである」

レニングラード女性ボディビル・クラブのコーチ、M・マカツン氏はこう語っています。そして「トレーニングは、早急な効果を期待せず、正しい指導の下、計画的に行うことが最も重要である」と。あなたもいかがですか。

技術と実績。信頼されるコートづくり。



有明コロシアム（パーフェクトコート）

●パーフェクトコート

アクリル系サーフェースの経済的なコートです。現在最も普及しています。

●ハイクッションコート

ウレタン系の弾性に富む高級コートです。透水型と非透水型があります。

●パーフェクトクレイ

雨にも強く、霜にも強い…。維持管理の楽な全天候型クレイコートです。

企画・設計・施工



日本舗道株式会社

本社：〒104 東京都中央区京橋1-19-11
☎(03)563-6761

北海道支店 ☎(011)842-8866 東北支店 ☎(022)262-1516 関東第1支店 ☎(03)471-8371 関東第2支店 ☎(03)3837-0482 北信越支店 ☎(025)244-9186
中部支店 ☎(052)211-6581 関西支店 ☎(06)942-6123 四国支店 ☎(0878)62-1155 中国支店 ☎(082)246-8321 九州支店 ☎(092)771-0266